

監査監督機関国際フォーラム (IFIAR) 事務局の 開設とその後の円滑な運営に向けて

～我が国初のグローバルな金融関係国際機関の本部開設～

2016年12月

金融庁 IFIAR常設事務局設立準備本部

目次

1. IFIAR(イフィアール)事務局が我が国に置かれる意義 p1
2. IFIARの概要 p2
3. IFIAR設立の経緯と主な目的 p3
4. IFIAR事務局の新設と我が国への誘致決定 p4
5. 事務局開設の進捗状況と今後の課題 p5

1. IFIAR事務局が我が国に置かれる意義

- 監査監督機関国際フォーラム (IFIAR) は、独立した監査監督当局により構成される国際機関であり、監査人や監査法人の検査等を通じて監査の品質をグローバルに向上することにより投資家保護や公益の向上を図ることを目的としている。
 - IFIARは、我が国に本部である事務局を置く初のグローバルな金融関係国際機関となる。
(参考) IMF・世界銀行の本部は、米国。FSB・バーゼル銀行監督委員会はスイス。
証券監督者国際機構 (IOSCO) はスペイン。国際財務報告基準 (IFRS) 財団は英国。
- ⇒ 日本の国際的地位と東京の金融センターとしての地位の向上の観点等から見て極めて高い意義がある。
- 経済の安定的な成長のためには、資本市場の健全な発展やコーポレート・ガバナンスの確保のため必要な上場企業の開示への信頼を支える「質の高い監査」が不可欠
 - 経済のグローバル化に伴い国際的な監査の課題はより拡大
- ⇒ IFIARの活動は、我が国はじめグローバルな経済の健全な発達に寄与する。

2. IFIARの概要

- 名称: 監査監督機関国際フォーラム

(IFIAR: International Forum of Independent Audit Regulators)

- 設立年: 2006年9月

- 加盟メンバー: 52か国・地域

議長: Janine van Diggelen(オランダ金融市場庁) 任期2017年4月

副議長: Brian Hunt(カナダ公共会計責任委員会)

- 事務局機能:

現在、事務局はなく、議長、副議長の当局が実質的に事務局機能を果たしている。

- 組織構成:

重要案件については諮問委員会(日・米・英・独・仏・豪・星)で審議されている。

3. IFIAR設立の経緯と主な目的

➤ 設立の経緯

- 一連の不正会計事件を契機として監査品質を確保するため世界各国で監査業界から独立した監査監督機関が設立された。
- 2006年に各国・地域の監査監督当局間における協力・連携の場として監査監督機関国際フォーラム (IFIAR) が発足。
- 日本からは設立時より金融庁と公認会計士・監査審査会が参加。2007年の第一回本会合を東京で開催した。

➤ 主な目的

- i 監査事務所の検査に焦点を当て、監査市場の環境に関する知識や監査監督活動の実務的な経験を共有。
- ii 監督活動における協力及び整合性を促進。
- iii 監査の品質に関心を有する他の政策立案者や組織との対話の主導。

4. IFIAR事務局の新設と我が国への誘致決定

➤ IFIARの課題の深化と加盟メンバーの増加

- 多国籍企業の監査や国境を越えた上場の増加、また、監査法人の国際的な統合の進展など対処すべき課題が深化。
- 金融危機後、他の金融関係の国際機関との関係強化も新たな課題。
- 加盟メンバーも発足当初の18カ国から52カ国へ急速に増加。

➤ 機能強化のため事務局の新設を決定

- IFIARは、当初の当局間の意見交換の場から国際機関としての実質的な活動を伴う組織へと急速に成長しつつある。
⇒ 2014年にIFIARは、国際機関としての本部機能を強化するため事務局の新設を決定。ホスト国の募集を開始。

➤ 我が国の国際的プレゼンスを強化するため国をあげて誘致

- 我が国は、国際的なプレゼンスの強化、東京の金融センターとしての地位向上及び監査の質の向上の観点からホスト国に立候補。
- 国をあげた誘致の結果、本年4月に東京への設置が決定された。

5. 事務局開設の進捗状況と今後の課題

- 来年4月のIFIAR事務局の開設に向けた対応
現在、IFIARは、
 - ・事務局長をはじめとする事務局スタッフの選定
 - ・東京都心でのオフィス開設と法人格取得のための一般社団法人設立等を進めている。金融庁としても必要な支援を行っている。

- 事務局開所式と東京本会合の開催
来年4月にIFIAR全加盟国が出席する最大の会合である本会合を2007年の創設会合以来、10年ぶりに東京で開催する予定。
あわせて事務局開所式を開き加盟国に我が国の貢献を示す。

- 日本IFIARネットワークの立上げ
IFIAR事務局の支援と我が国における監査の質の向上のため我が国で活動するステークホルダーによるネットワークを構築(2016年12月7日)。

- 当庁としても一元的な金融監督当局としての知見も活用しつつ、今後のグローバルな監査の品質向上に向けて積極的に貢献していく。

(参考1)

日本再興戦略2016（抜粋） 平成28年6月2日 閣議決定

我が国の国際的なプレゼンスを高め、また東京の国際金融センターとしての地位を向上させる観点から、今後東京に常設事務局を設置することが決定したIFIAR（監査監督機関国際フォーラム）について、来年4月の事務局開設及びその後の円滑な運営に向け、必要な支援を行う。

平成28事務年度 金融行政方針（抜粋） 平成28年10月21日 公表

日本の国際的地位と東京の金融センターとしての地位の向上及び監査の品質向上の重要性に鑑み、IFIAR 常設事務局を東京に誘致し、2016年4月に東京設置が決定された。IFIAR は日本に事務局を開設する初の金融関係国際機関であり、2017年4月に予定される事務局開設と東京での本会合開催、その後の円滑な運営に向け、金融庁として必要な支援を行っていく。加えて、我が国におけるIFIAR 事務局の活動のサポート及びIFIAR 要人等との意見交換を通じた、我が国における監査の品質に関する意識向上のため、国内の関係団体によるネットワークの構築を図る。また、一元的な金融監督当局としての知見も活用しつつ、金融庁として、今後のグローバルな監査の品質向上に向けて積極的に貢献していく。

麻生副総理兼財務大臣兼内閣府特命担当大臣閣議後記者会見の概要

平成28年4月22日(金)

最初にIFIARの話、いわゆる公認会計士とか監査法人などを監督する各国の地域等々で構成されております監査監督機関国際フォーラムをIFIARと言うのですが、この常設事務局を東京に設置するということがロンドンで行われた本会合で正式に決定されています。IFIARの常設事務局を東京に設置するということは、日本の国際的なこの業界におけるプレゼンスの強化や東京市場の国際金融センターとしての地位向上の観点からも極めて重要だと考えております。したがってこれまで金融庁及び公認会計士監査審査会を中心に外務省とも密接に連絡・連携の上、政府一丸となつて誘致運動に取り組んできたところです。このたび東京にIFIARの常設事務局を誘致することができたというのは、これは政府の取組はもちろんですが、東京都や民間の団体等にもいろいろ支持をしていただいたことが大きな要因として挙げられると思っておりますので、関係者の皆様に対して深く御礼、感謝申し上げます。金融庁及び公認会計士監査審査会としては、IFIARの常設事務局が東京に設置された後も、IFIARが今後国際機関として発展・成長等々グローバルな監査の質を上げていくことができるように積極的に貢献をしていきたいと考えております。

(参考2)IFIARでの最近のトピック

- 監査監督当局間の多国間情報交換枠組み(MMOU: Multilateral Memorandum of Understanding)の創設
 - ⇒ 2017年4月の東京本会合で調印の予定。監査監督当局間で国際的な情報交換を行う枠組みを構築することでグローバルな企業活動の監査監督をより適切に行うことを目指す。

- 監査の失敗の根本原因(root cause)をとらえた監査監督の議論
 - ⇒ 監査監督にあたり、単に監査法人が一定の監査基準に従っていたかどうかだけでなく、監査法人のビジネスモデルやガバナンスの問題といった本質的な原因を捉えた対処を行うべく議論が進められている。

- 監査の質に利害を有するステークホルダーとの対話の強化
 - ⇒ 会計監査の質の向上に向け、監査法人のみならず、上場企業の監査委員会や投資家等との意見交換を強化している。金融分野の他の国際機関(FSB・BCBS・IOSCO等)との連携も強化している。

(参考3)IFIAR加盟メンバー構成 52カ国・地域

2016年12月7日時点

欧州(31)

- アイルランド(IAASA)
- アルバニア(POB)
- イギリス(FRC)
- イタリア(CONSOB)
- オーストリア(ASA)
- オランダ(AFM)
- キプロス(CyPAOB)
- ギリシャ(HAASOB)
- クロアチア(APOC)
- ジブラルタル(GFSC)
- スイス(FAOA)
- スウェーデン(RN)
- スロバキア(UDVA)
- スロベニア(ANR)
- スペイン(ICAC)
- チェコ(PAOB)
- デンマーク(DBA)
- ドイツ(AOB)
- ノルウェー(FSA)
- ハンガリー(APOA)
- フィンランド(PRH)
- フランス(H3C)
- ブルガリア(CPOSA)
- ベルギー(CRME/KVI)
- ポーランド(KNA)
- ポルトガル(CMVM)
- リトアニア(AAAPVIM)
- リヒテンシュタイン(FMA)
- ルクセンブルグ(CSSF)
- ジャージー(JFSC)
- ロシア(MOF/FSFBO)

アジア(10)

- インドネシア(PPPK)
- 韓国(FSC/FSS)
- シンガポール(ACRA)
- スリランカ(SLAASMB)
- タイ(SEC)
- チャイニーズタイペイ(FSC)
- 日本(CPAAOB/FSA)
- マレーシア(AOB)
- オーストラリア(ASIC)
- ニュージーランド(FMA)

中東(3)

- アブダビ(ADAA)
- ドバイ(DFSA)
- トルコ(POA/CMB)

アフリカ(4)

- エジプト(EFSA)
- ボツワナ(BAOA)
- 南アフリカ(IRBA)
- モーリシャス(FRC)

北米(3)

- アメリカ(PCAOB)
- カナダ(CPAB)
- ケイマン(AOA)

南米(1)

- ブラジル(CVM)

